

地域移行促進部会活動報告（精神グループ）

平成29年度は4回会議を開催し、以下について検討し課題解決に向けた取組を始めた。
平成30年度は取組を更に具体化して行く予定。

課題

- ① 地域移行を積極的に進めるにあたっては、実際の支援を行う一般相談支援事業所を増やすことが必要。（一般の指定を取っている事業所は区内に7カ所。うち精神対応は3カ所）
- ② 対象者の掘り起こしをどうするか？→ これまでアプローチできていない病院にどのような入っていくか？入院者の実態も把握する必要がある。

H29年度の取り組み

① について

○地域移行について各事業所がどのくらい理解しているか、サポートできる体制等あれば一般の指定を取るところも増えるのか？などの課題提起と情報収集を目的に区内の相談支援事業所にアンケートを実施した。

② について

○630調査で把握している精神科病院へ、病院側が退院促進（地域移行）についてどういうスタンスでいるか？地域の支援者が入ることに対して積極的か？を知る目的でアンケート調査をすることを検討。

H30年度の取り組み

① について

○アンケート結果を参考に、今年度地域移行に関する研修を実施する。
研修は地域移行に関心のある相談支援事業所だけでなく、保健センター、すまいるにも参加を呼びかける。
事務局で研修(案)を作成し、第1回の部会で内容、日程等について検討する。

② について

○病院向けアンケートの最終案については幹事で調整し、4月24日開催の本部会幹事会に報告。
5月連休明けに病院に発送する。

○アンケートについては、6月上旬に回収予定なので後半に部会を開催し、病院訪問の具体的な日程や段取り、配布物等検討する。

○訪問可能な病院を順次訪問し本人に会う。本人には杉並区では退院するのを待っている、支援するというメッセージを届ける。

その中で、実際支援できそうな方については地域移行プレ事業や地域移行につないでいく。

○訪問体制については、部会の委員だけでなくすぎなみ会議等の協力も得ながら進めていく。